

令和5年度 働き方改革に関する教職員へのアンケート調査結果

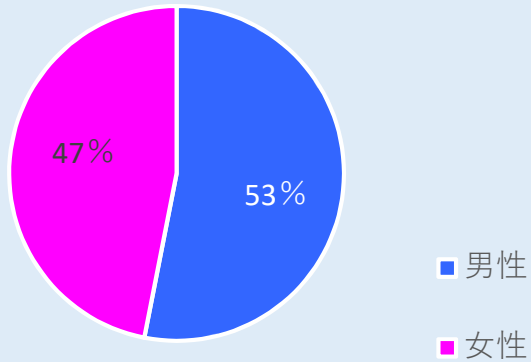
○調査期間：令和5年6月12日～7月31日

○回答数：842名（小中学校 437名、県立学校 405名）

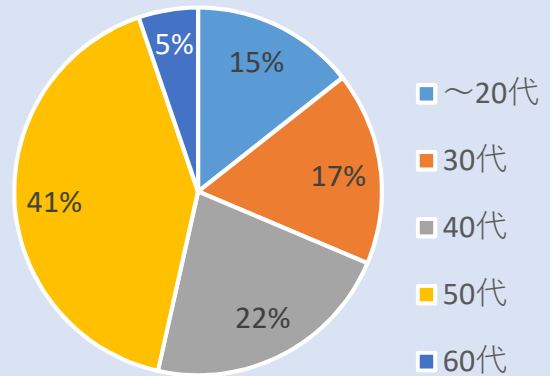
○回答率：90.5%（小中学校 91.0%、県立学校 90.0%）

※各アンケート項目の割合の合計は、端数処理により必ずしも100%にならない場合もあること

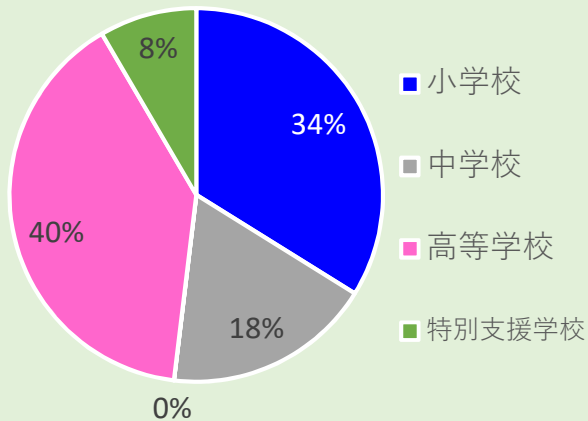
問A-1 性別



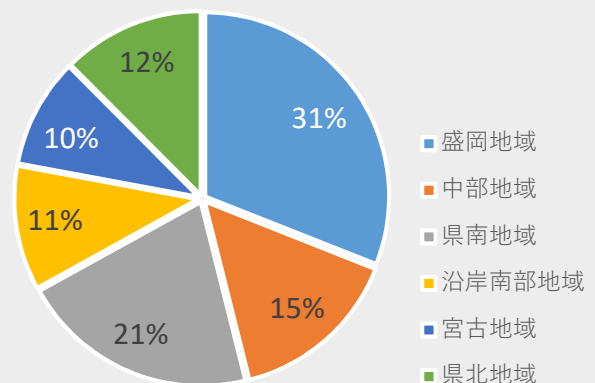
問A-2 年代



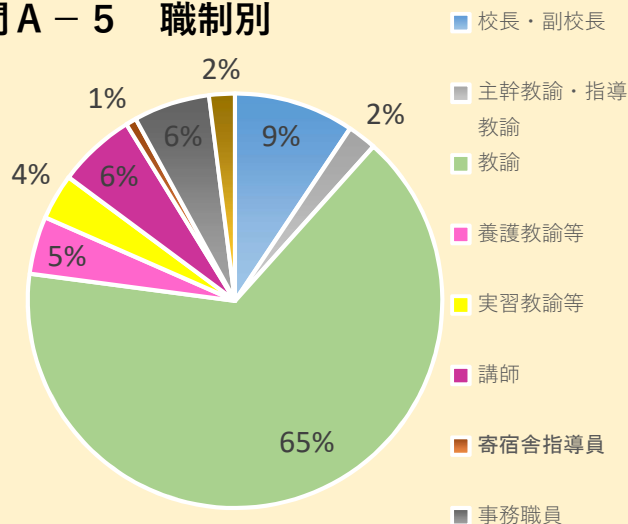
問A-3 校種別



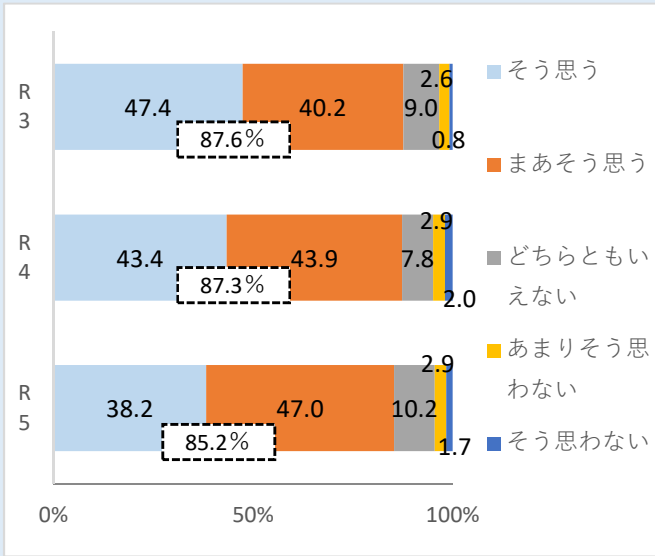
問A-4 地域別



問A-5 職制別

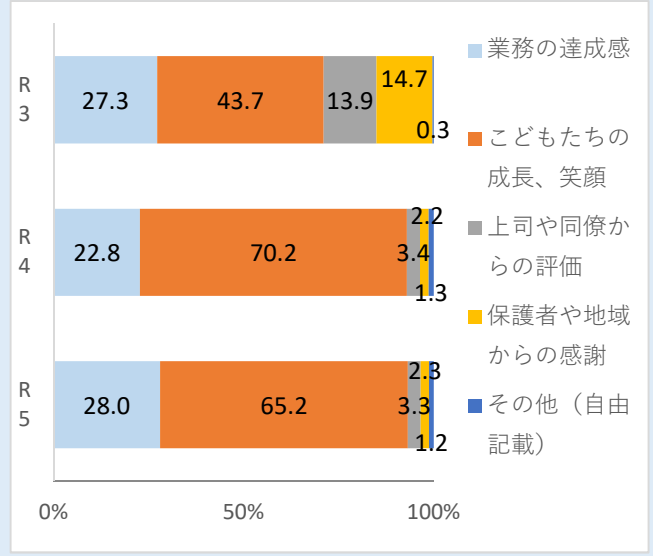


問B-1 現在の業務にやりがいを感じていますか【プラン目標】



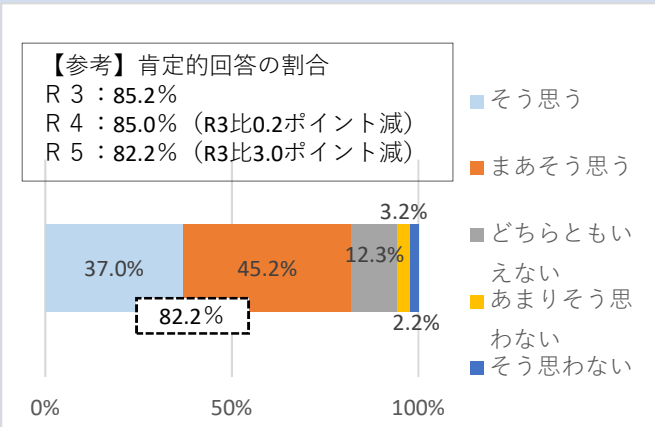
- 現在の業務にやりがいを感じている教職員は、「そう思う」「まあそう思う」の回答割合が85.2%と高い状況であるが、R3年度比では減少している。(R3比2.4ポイント減)
- 校種別にみると、小中学校の方が県立学校よりも肯定的回答の割合が高い。

問B-2 どのようなときにやりがいを感じますか

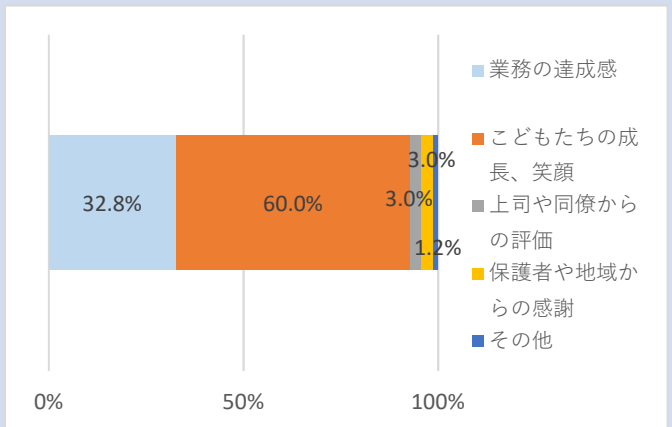


- やりがいを感じる場面としては「子どもたちの成長、笑顔」が約65%、「業務の達成感」が28%と高い割合を占めている。
- 特にR3年度比において、「子どもたちの成長、笑顔」が大幅に増加している。(R3⇒R5: 21.5ポイントの増)

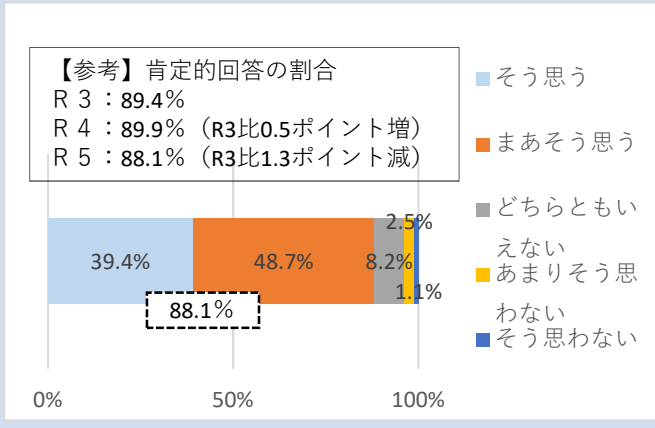
(R5内訳: 県立)



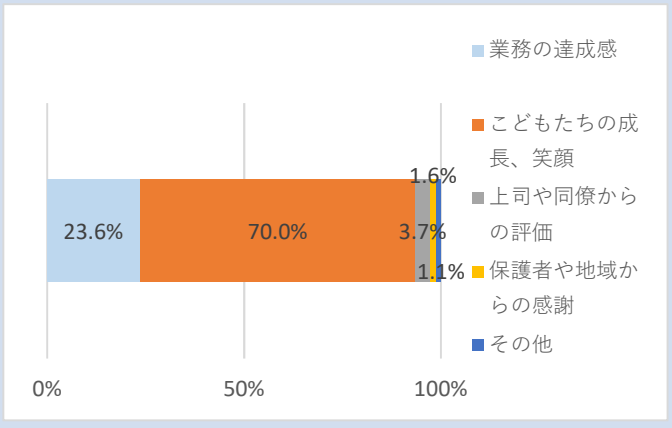
(R5内訳: 県立)



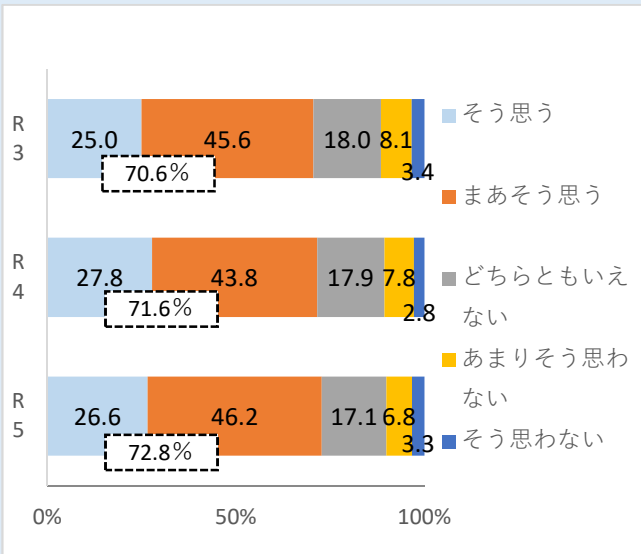
(R5内訳: 小中)



(R5内訳: 小中)

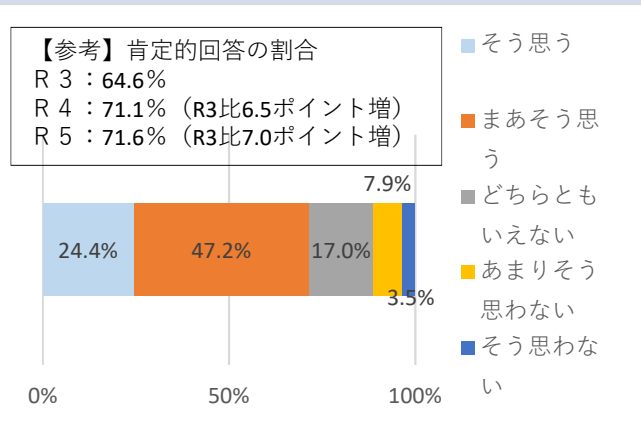


問B-3 あなたの職場は働きやすい環境だと思いますか

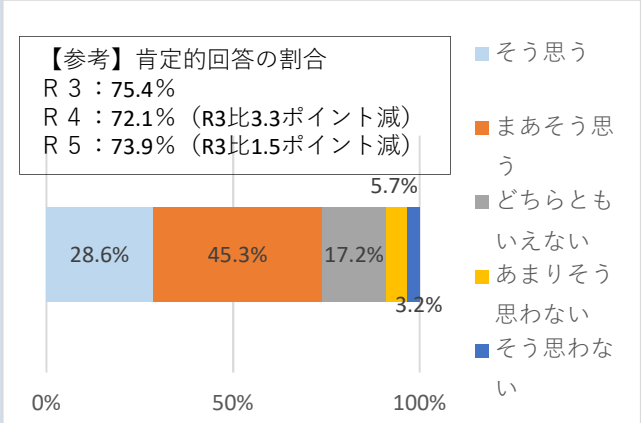


- 職場環境については、約73%が働きやすいと感じており、R3年度より2.2ポイント増加している。
- 校種別では、R3比で県立学校では増加(7.0ポイント増)しているのに対し、小中学校では減少(1.5ポイント減)している。

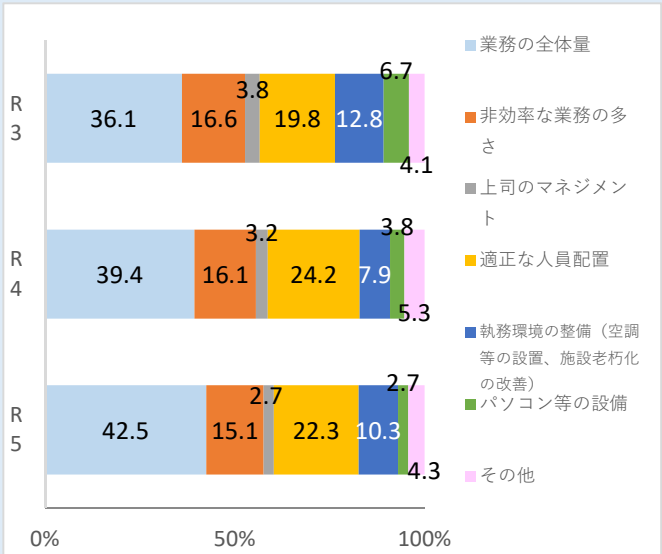
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

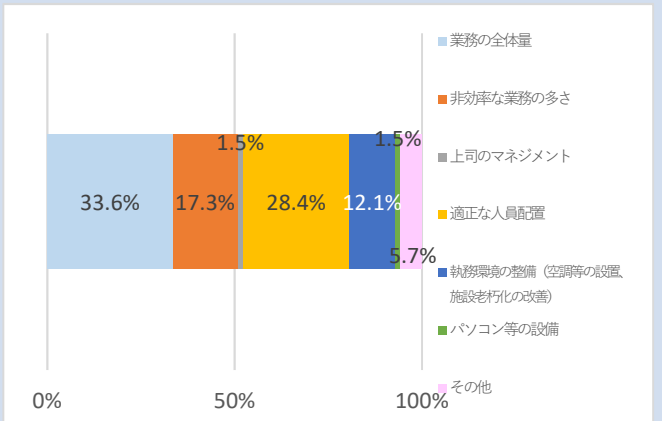


問B-4 あなたの職場で最も改善してほしいものは何ですか

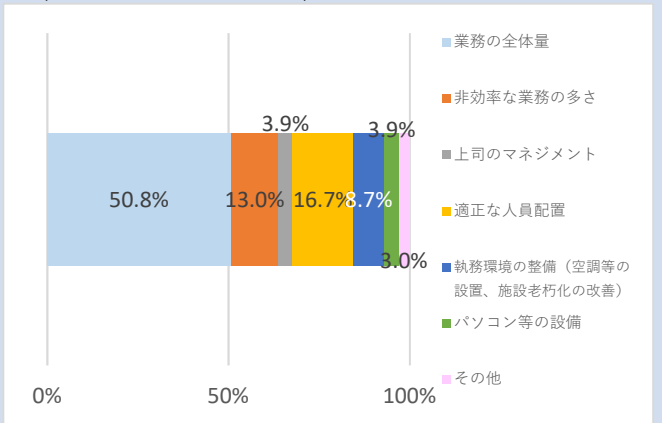


- 職場の改善事項としては「業務の全体量」が約43%と一番多く(年々増加傾向)、次に「適正な人員配置」が約22%となっている。
- 校種別では、「業務の全体量」の割合が小中>県立となっているのに対し、「人員配置」は小中<県立となっている。

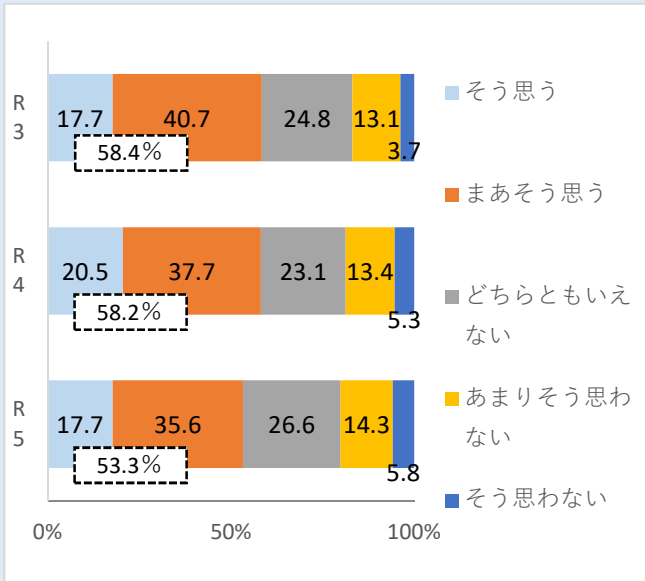
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

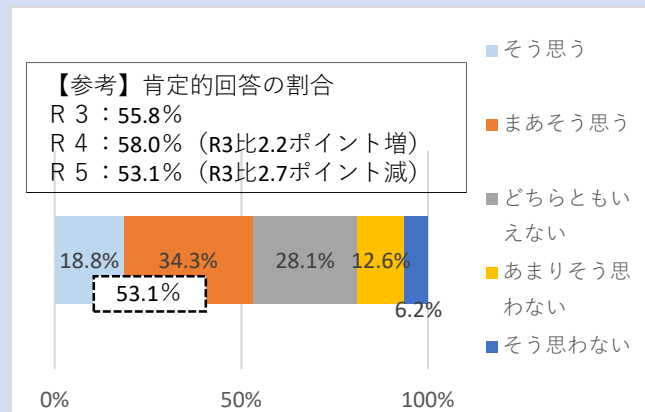


問B-5 授業や授業準備に集中できていると感じていますか【プラン目標】

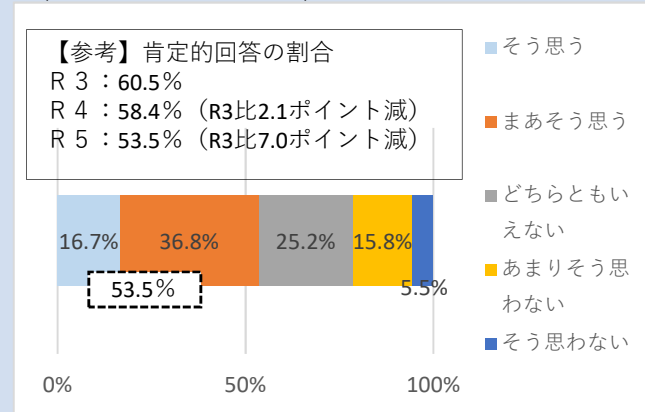


- 授業や授業準備に集中できていると感じている教員は、約53%とR3比で減少している。
- 校種別にみると、肯定的回答の減少割合は、小中>県立となっている。
(R3→R5：小中 △7.0ポイント)
(R3→R5：県立 △2.7ポイント)

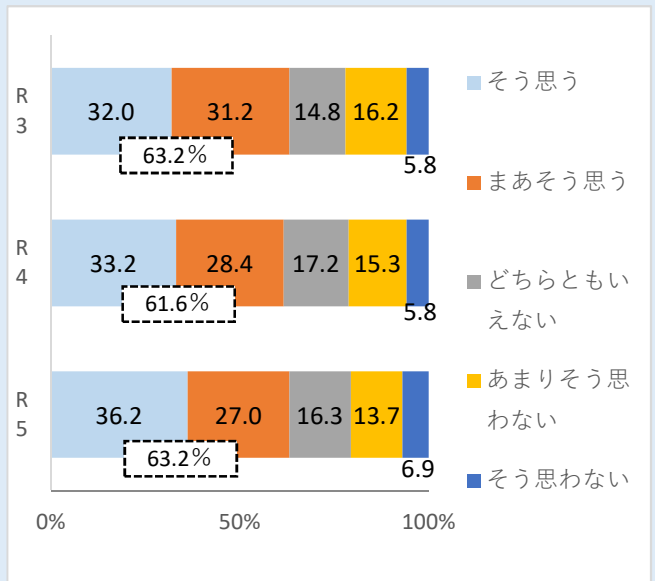
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

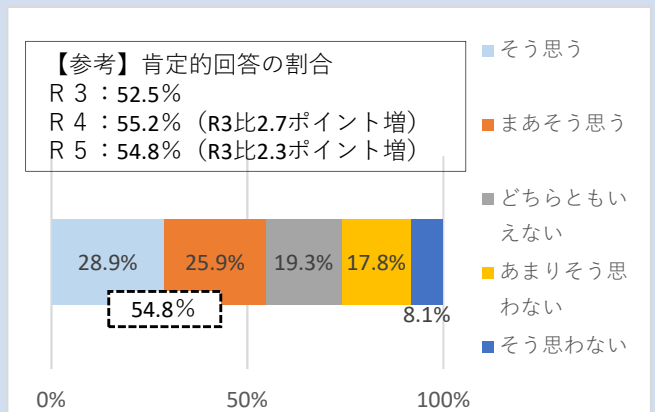


問B-6 時間外勤務時間が多いと感じますか

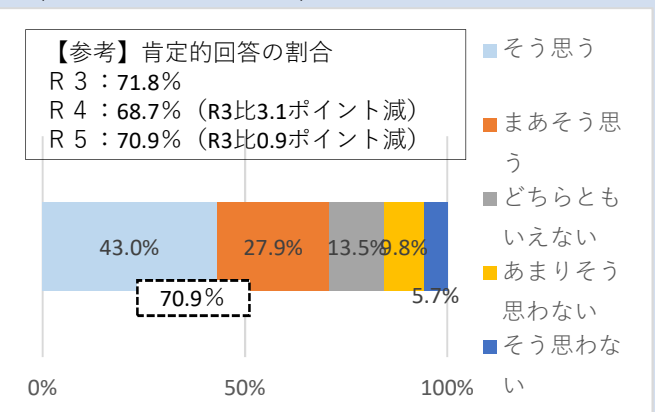


- 時間外勤務が多いと感じている教員の割合はR3比と同水準。
- 上記教員に係る校種別の内訳は、県立学校教員は54.8%であるのに対し、小中学校教員は70.9%と開差がある。

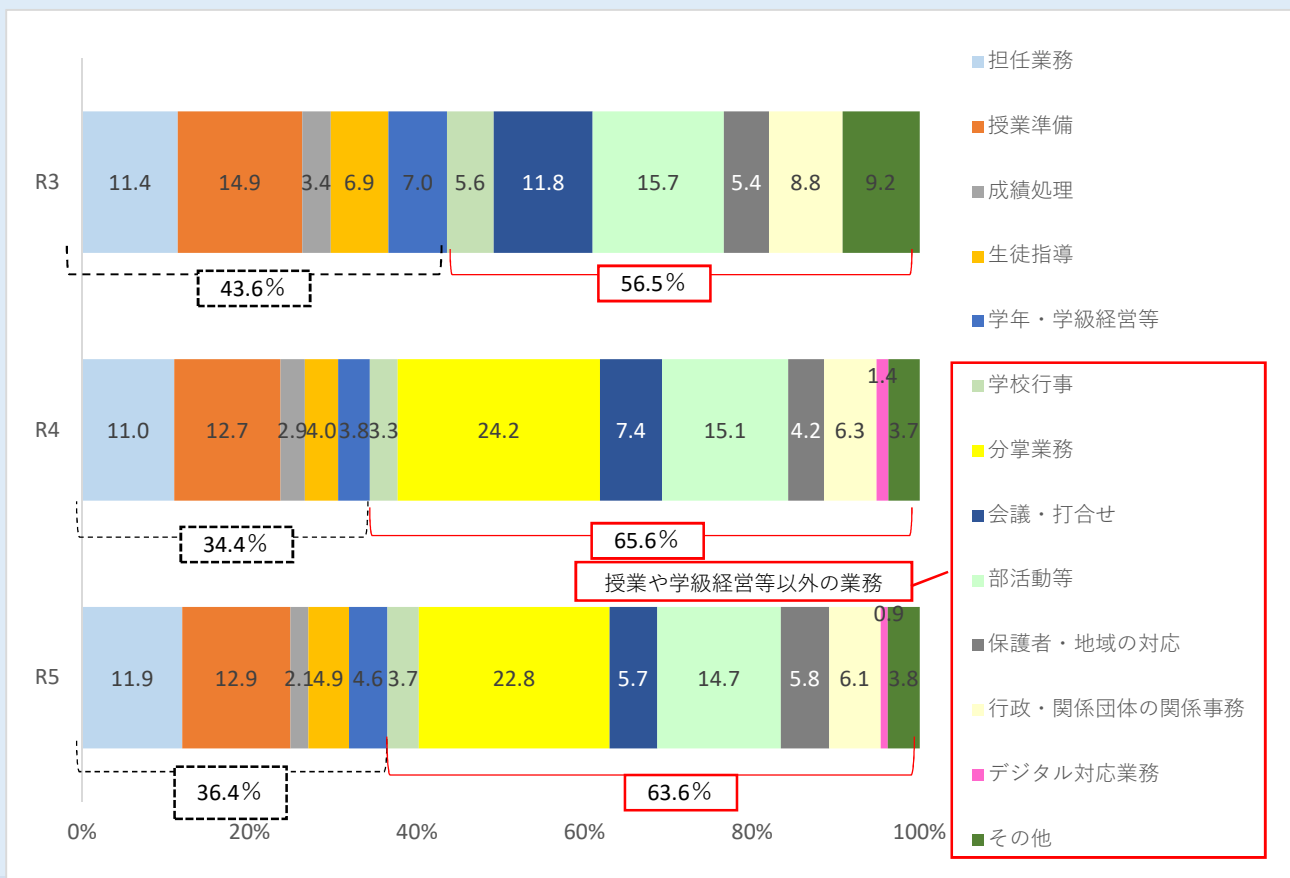
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)



問B－7 時間外勤務の要因は何ですか



【全体的な傾向】

- 授業や学級経営等以外の業務（学校行事、分掌業務、会議・打合せ、部活動、保護者地域等の対応、行政・関係団体の関係事務等）が約64%と高い割合を占めており、特に分掌業務の割合が大きい。

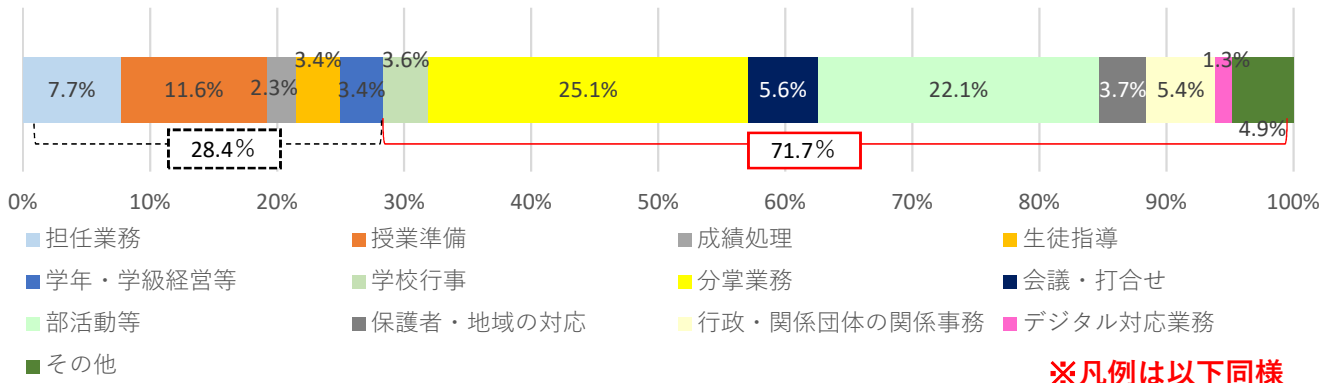
【県立学校の傾向】 次頁参照

- 授業や学級経営等以外の業務（学校行事、分掌業務、会議・打合せ、部活動、保護者地域等の対応、行政・関係団体の関係事務等）が約72%と高い割合を占めている。
 県立学校全体における時間外勤務の要因をみると、①分掌業務（25.1%）と②部活動（22.1%）でほぼ全体の半分弱（47.2%）となっているが、県立学校の内訳をみると割合が多い主な要因としては
 「高等学校」では、①部活動（26.7%）、②分掌業務（24.7%）
 「特別支援学校」では、①分掌業務（27.3%）、②授業準備（24.8%）、③会議・打合せ（14.0%）となっており、校種の特性が表れている。

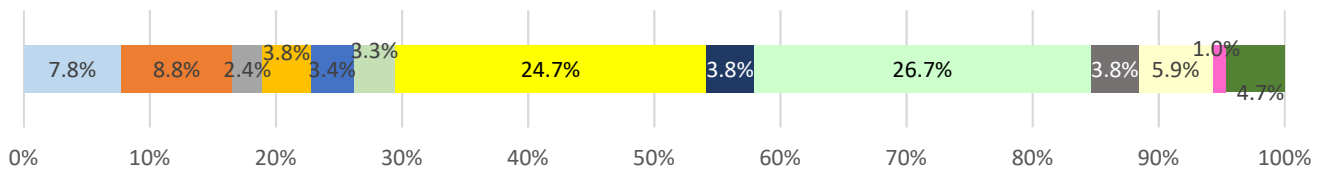
【小中学校の傾向】 次頁参照

- 担任業務や授業準備、保護者等対応が県立学校と比較して相対的に高い割合となっている。
 - ・担任業務：（小中）15.6%（県立）7.7%
 - ・授業準備：（小中）14.1%（県立）11.6%
 - ・保護者等対応：（小中）7.6%（県立）3.7%
- 小学校と中学校別にみると、小学校で①分掌業務、②担任業務、③授業準備の割合が、中学校では、①部活動、②分掌業務、授業準備の割合が高い。

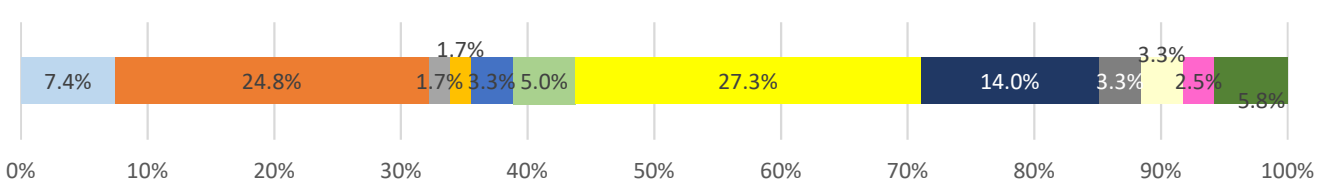
【R 5 内訳：県立学校】



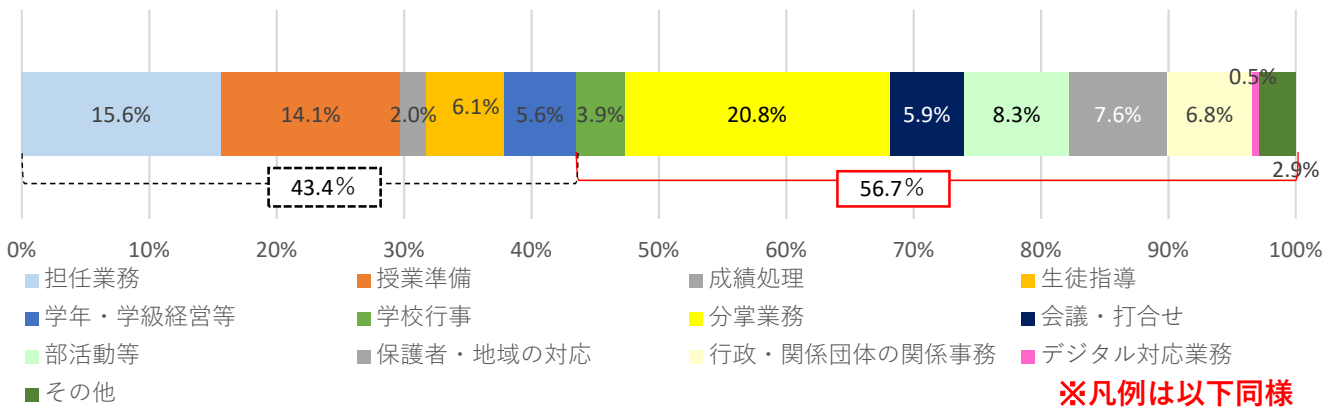
(県立学校内訳：高等学校)



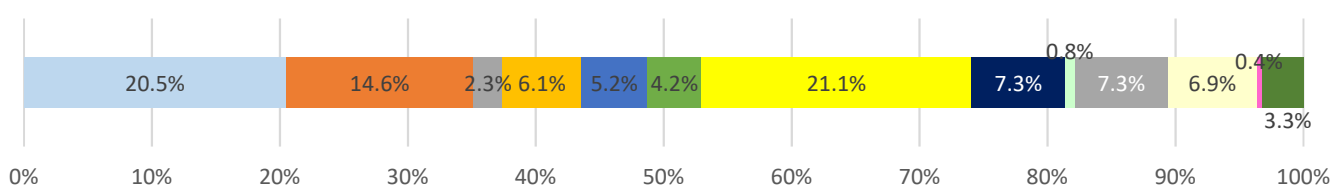
(県立学校内訳：特別支援学校)



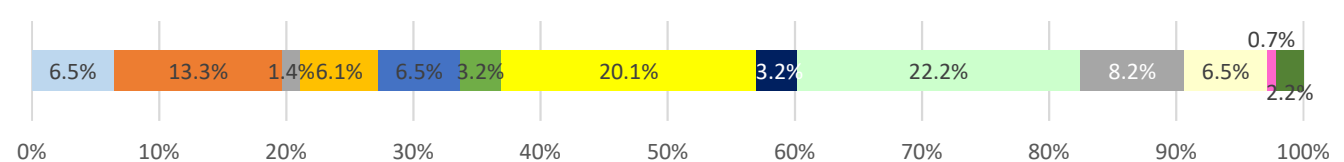
【R 5 内訳：小中学校】



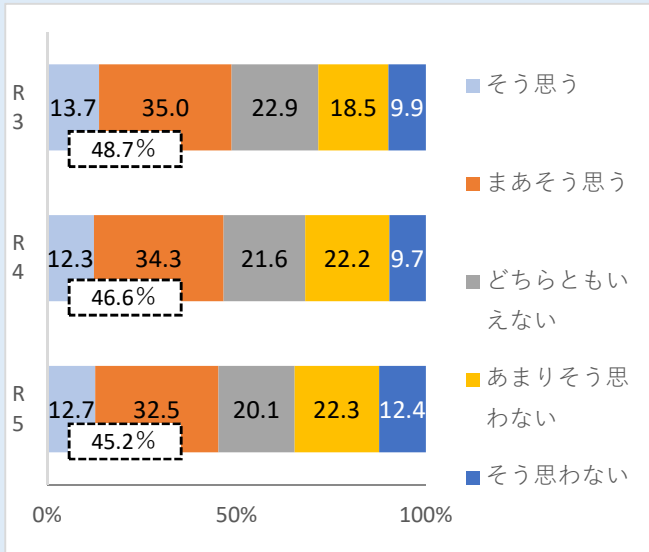
(小学校)



(中学校)

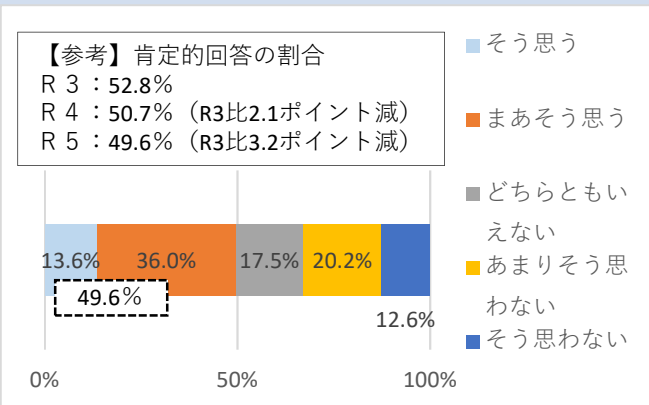


問B-8 自分の家庭のための時間を十分に確保できていますか

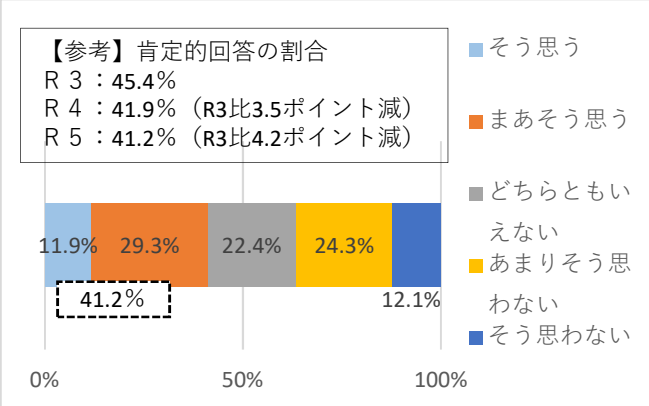


- 家庭のための時間の確保ができていると感じている教職員は、R3年度よりも3.5ポイント減少している。
- 上記教職員の校種別内訳は、県立学校の教職員が約50%であるのに対し、小中学校の教職員は、約41%と乖離が見られる。

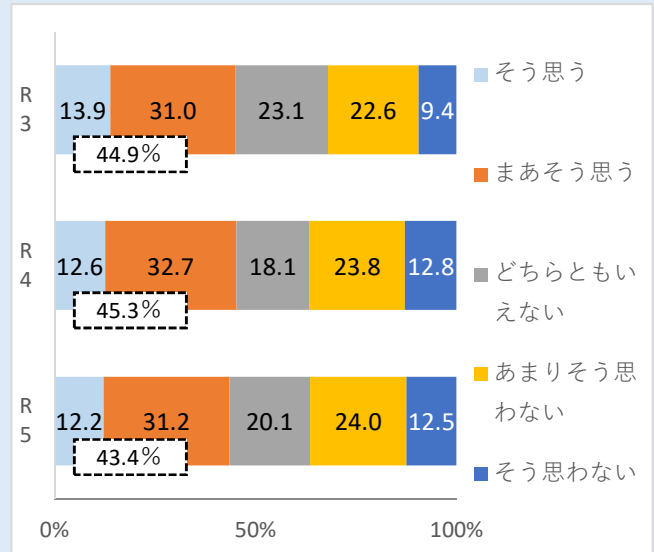
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

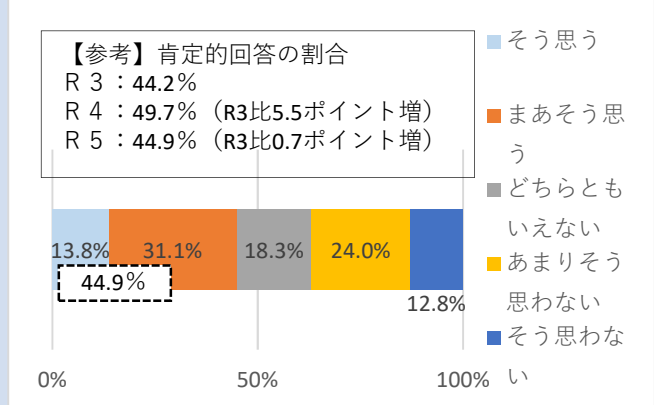


問B-9 自分自身の自由な時間を確保できていますか

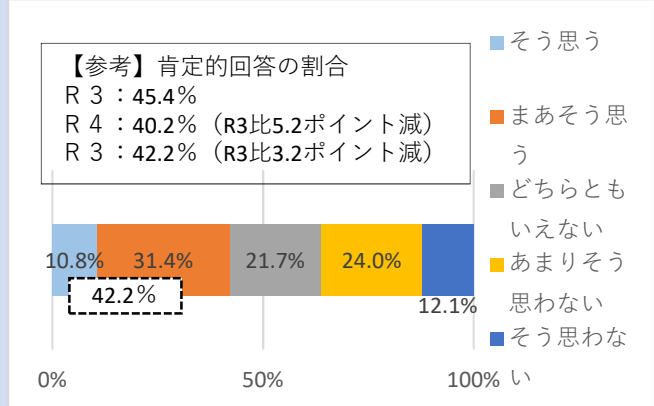


- 自分自身の自由な時間を確保できていると感じている教職員は、R3年度よりも1.5ポイント減少している。
- 校種別内訳は、県立学校の教職員が約45%とR3比で若干増加に対し、小中学校は、R3比で減少している。

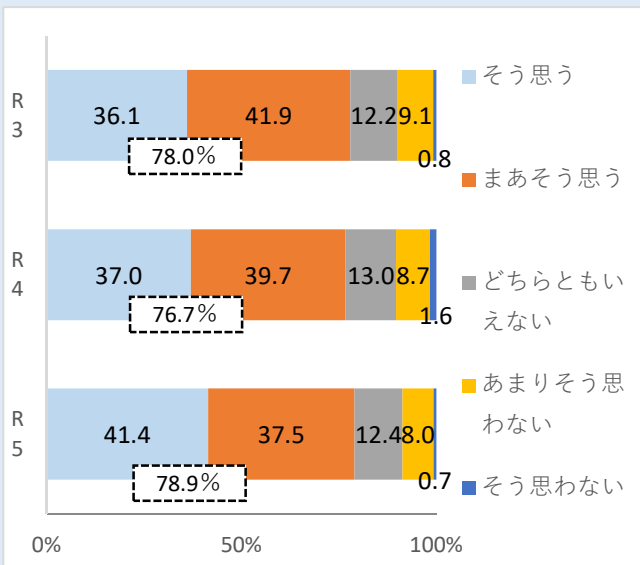
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

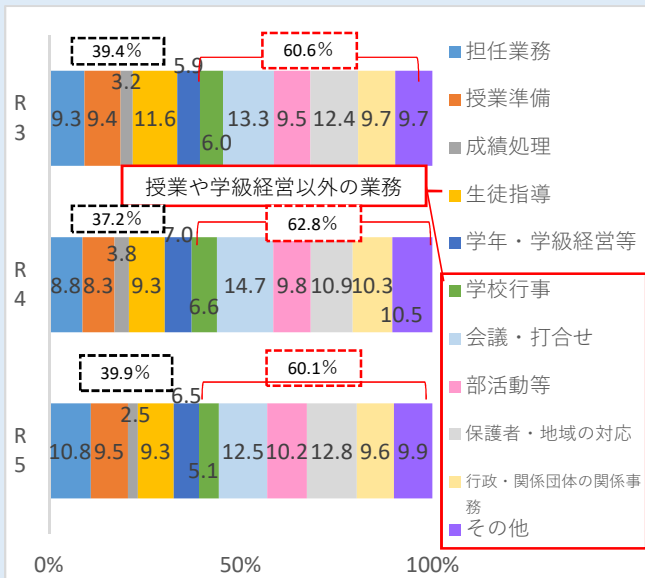


問B-10 日々の業務の中で、疲労感や焦燥感を感じていますか



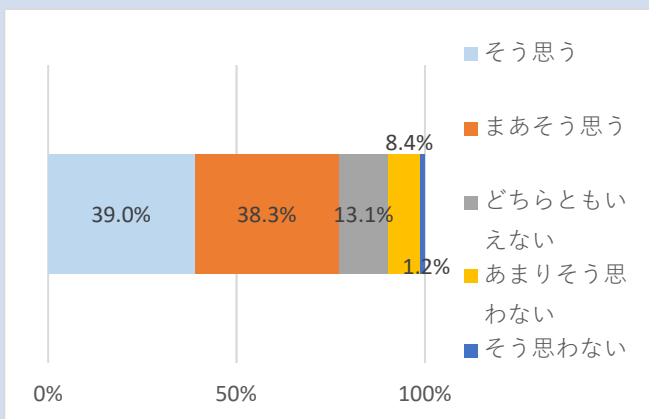
○ 日々の業務で疲労感を感じている教職員は、約79%と引き続き高い割合にある。(R3比0.9ポイント増)

問B-11 疲労感や焦燥感を感じるのはどのような業務ですか

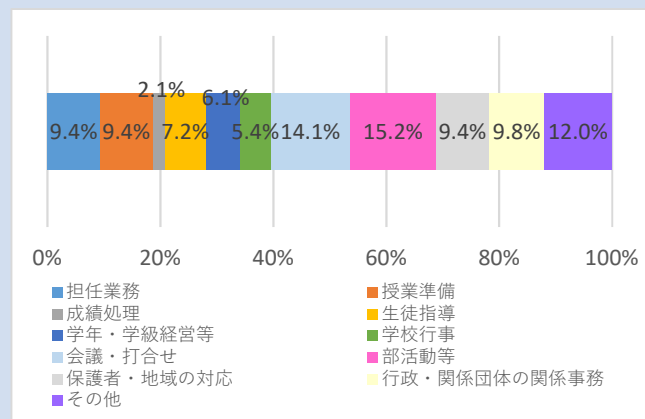


○ 疲労感や焦燥感を感じる要因としては、授業や学級経営以外の業務が約60%を占めている。
○ 問B-7における「会議・打合せ」、「保護者・地域対応」、「行政・関係団体事務」時間外勤務の要因と比較すると、の割合が多くなっている。

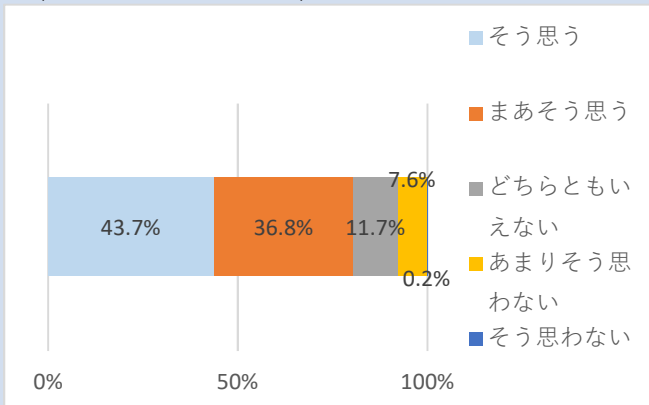
(R5内訳：県立)



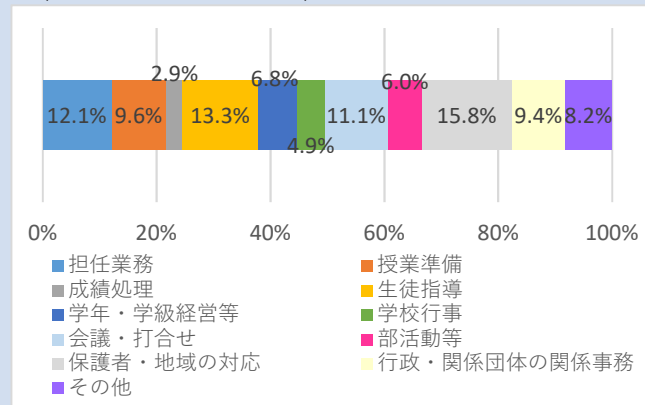
(R5内訳：県立)



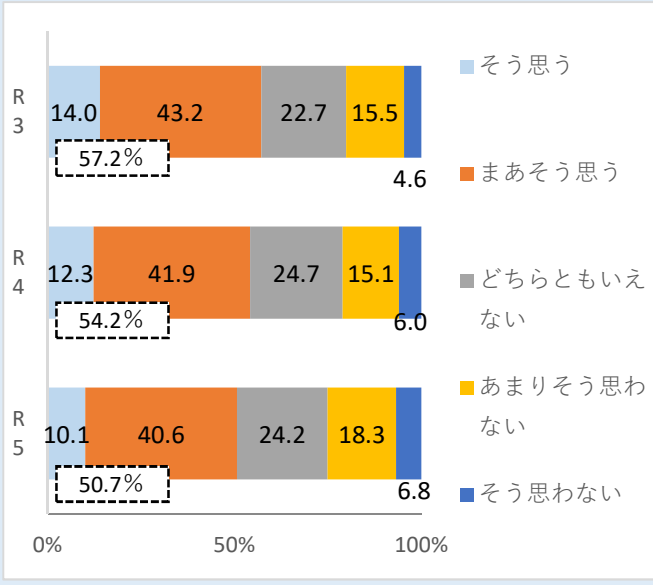
(R5内訳：小中)



(R5内訳：小中)

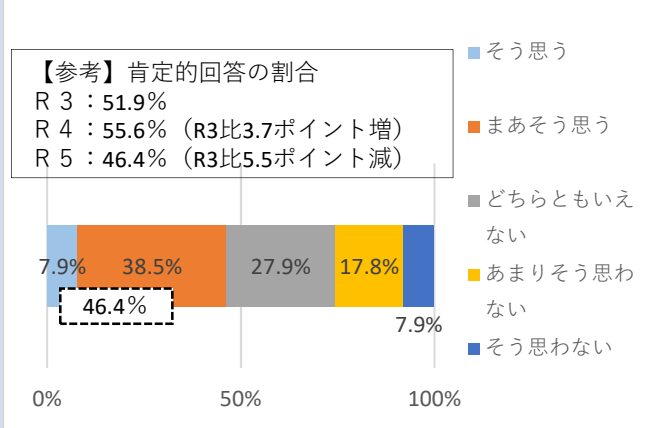


問B-12 健康でいきいきと業務ができていると感じていますか【プラン目標】

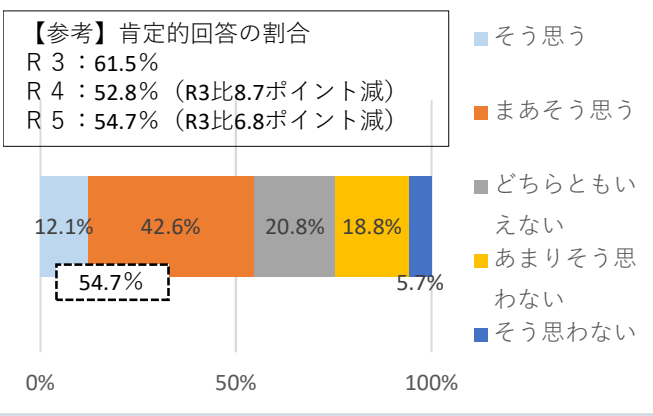


- 健康でいきいきと業務ができていると感じている教職員は、約51%とR3より減少している。(R3比6.5ポイント減)
- 校種別にみても、県立学校、小中学校ともに減少しているが減少幅は小中学校の方が大きい。

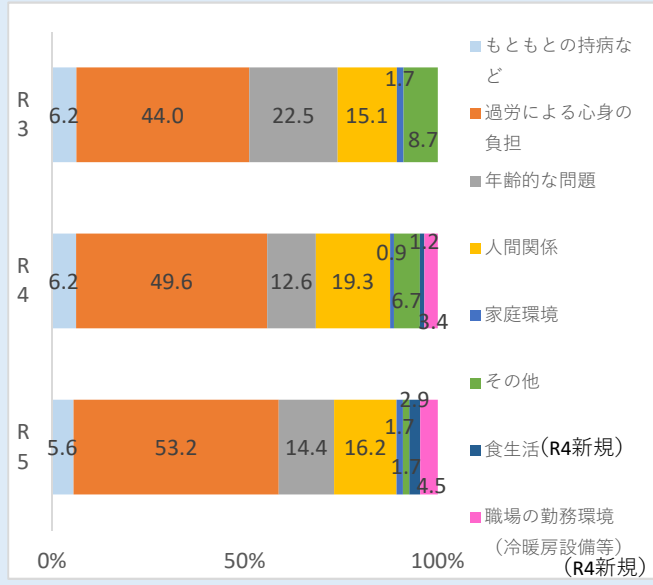
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

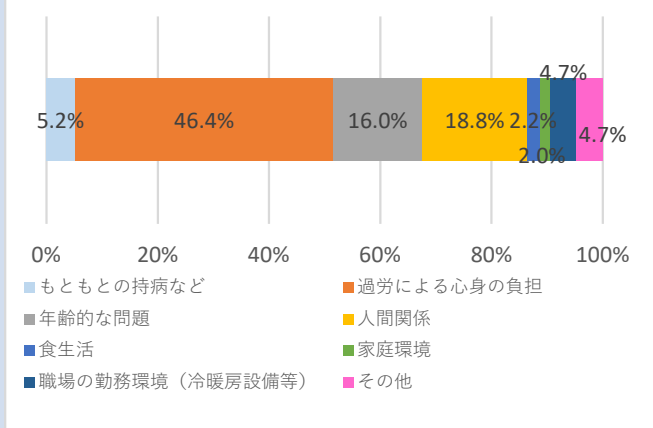


問B-13 健康的に業務ができない要因は何ですか

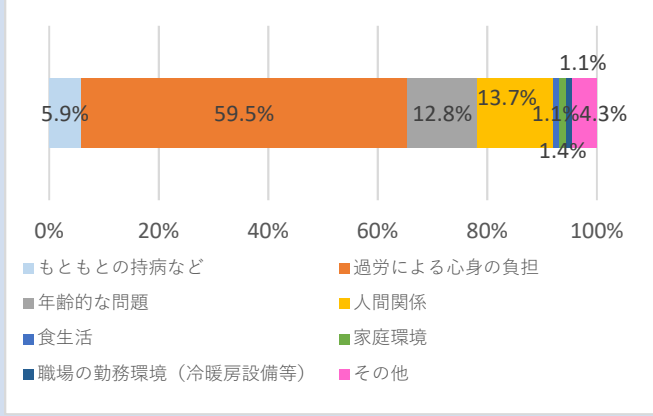


- 健康的に業務ができない理由としては、「過労による心身の負担」が半数を超えており、次に「人間関係」が多い割合となっている。

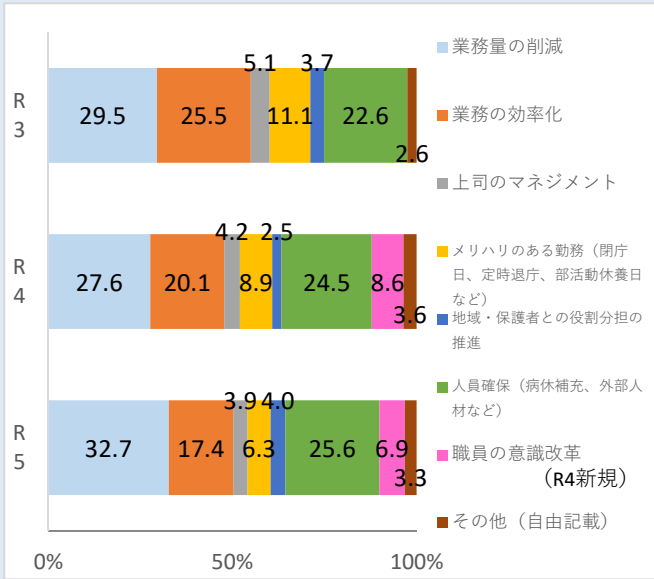
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)

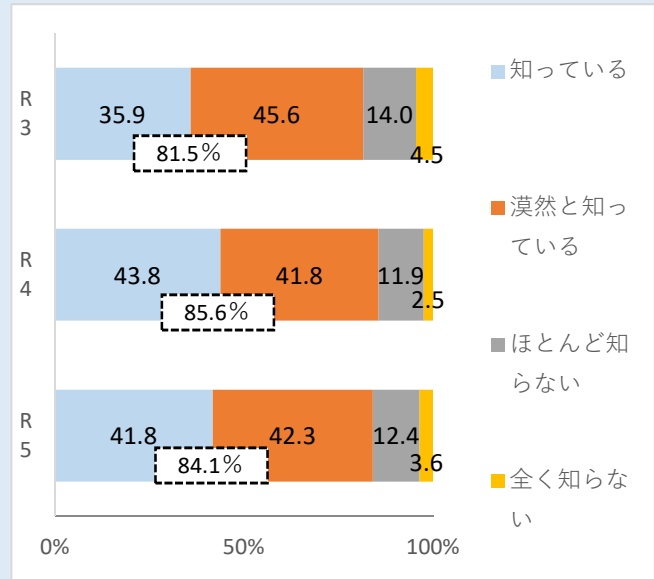


問B-14 時間外勤務を減らすためにはどのようなことが必要と思いますか



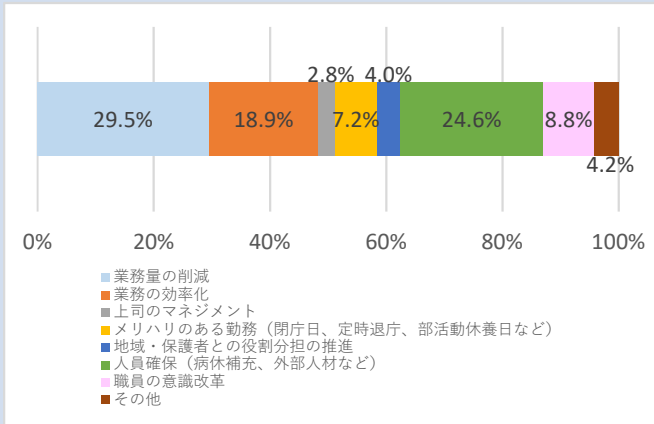
○ 時間外勤務を減らすために必要なこととして多い順に①業務量削減 (32.7%)、②人員確保 (25.6%)、③業務の効率化 (17.4%) があげられており、これら3項目で全体の約76%となっている。

問B-15 県教委の「働き方改革プラン」を知っていますか

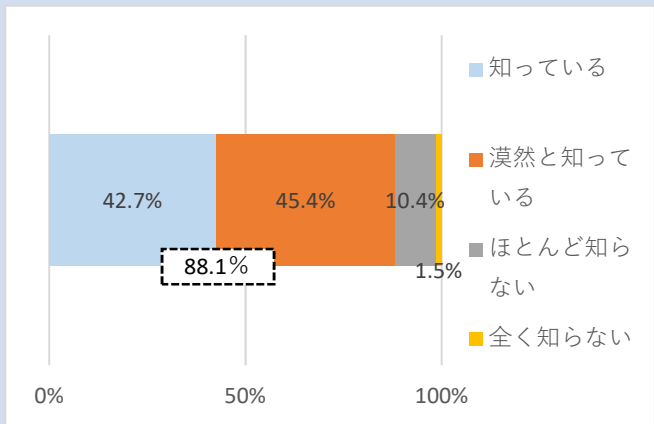


○ 8割を超える職員がプランを知っている (漠然と知る場合を含む) としているが、1割程度が未だ認知していない状況であり、引き続き周知していく必要があること。

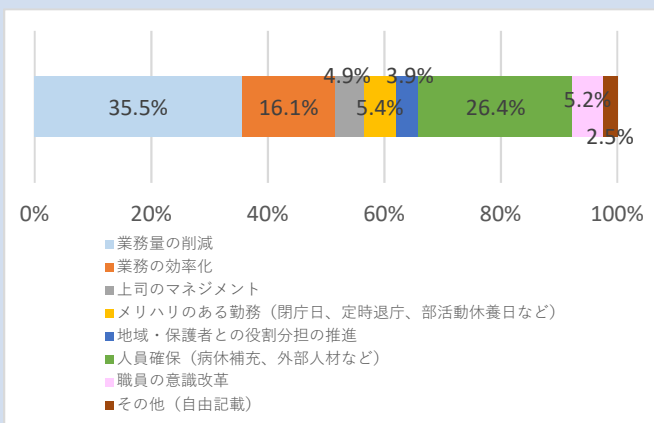
(R5内訳：県立)



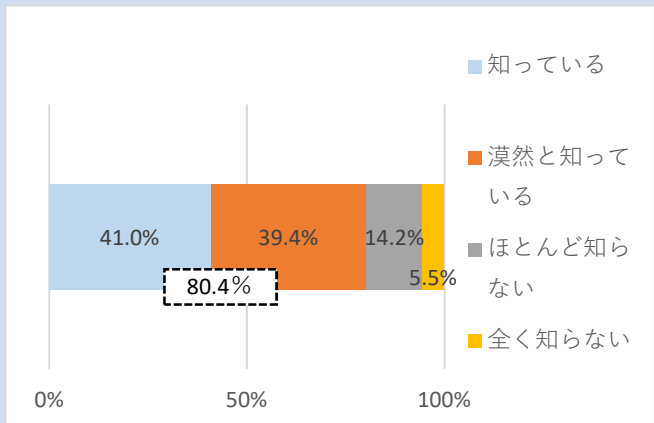
(R5内訳：県立)



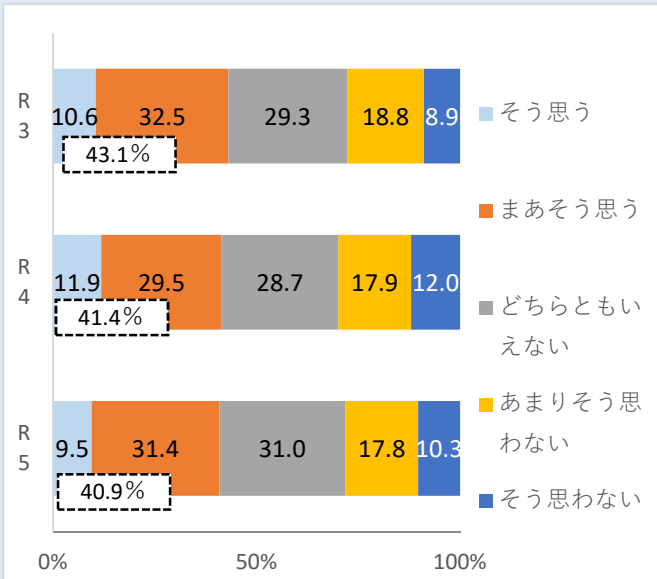
(R5内訳：小中)



(R5内訳：小中)

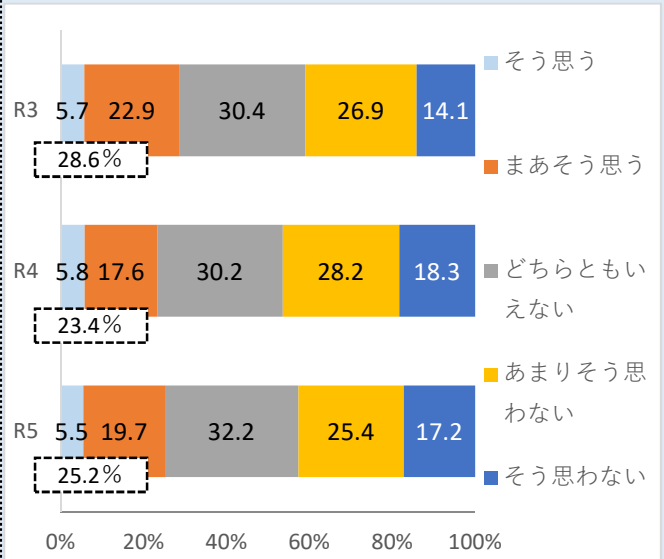


問B-16 あなたの職場において、働き方改革の取組が行われていると感じますか



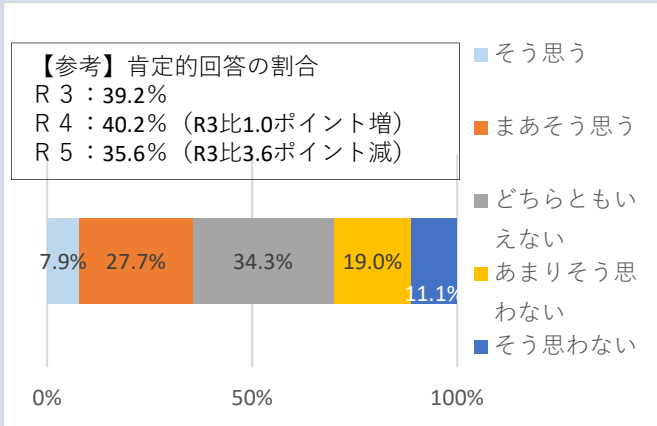
- 職場における取組が行われていると感じる割合は、4割程度にとどまっており、未だ働き方改革の取組に課題がある状況。(R3比より2.2ポイント減)
- 校種別にみた肯定的回答の割合は、小中学校の方が県立学校よりも高い状況。

問B-17 (プランを策定した) 令和3年度以降、職場の負担軽減が進んでいると思いますか

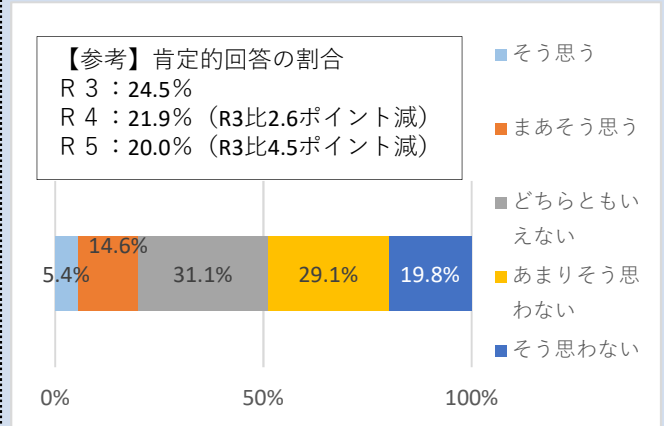


- 職場における負担軽減を実感している教職員の割合は、約25%程度と低く、プランの取組効果が、学校現場において発現されていない。(R3より3.4ポイント減)
- 肯定的回答の割合を校種別にみると、県立学校よりも小中学校の方が高い。

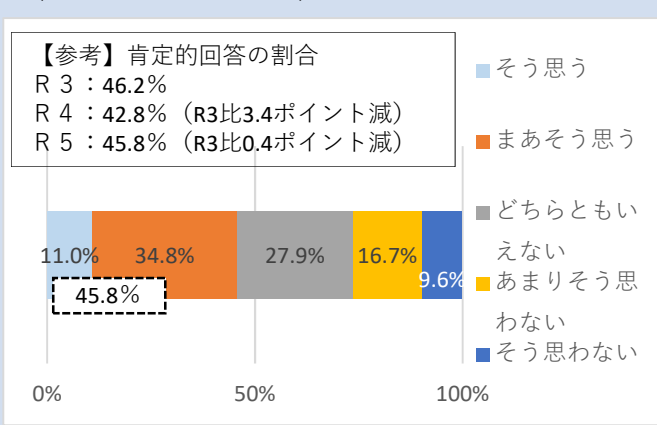
(R5内訳：県立)



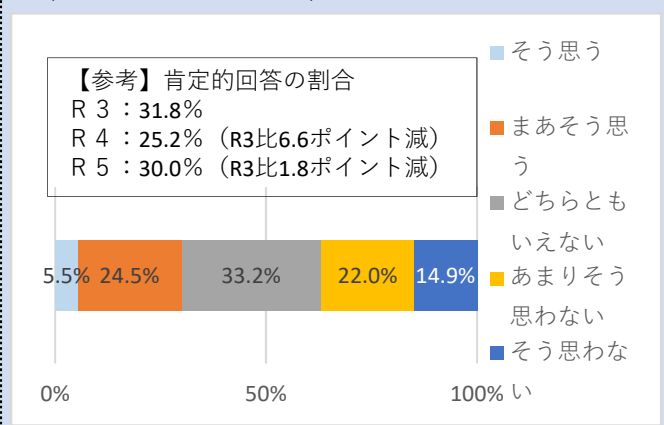
(R5内訳：県立)



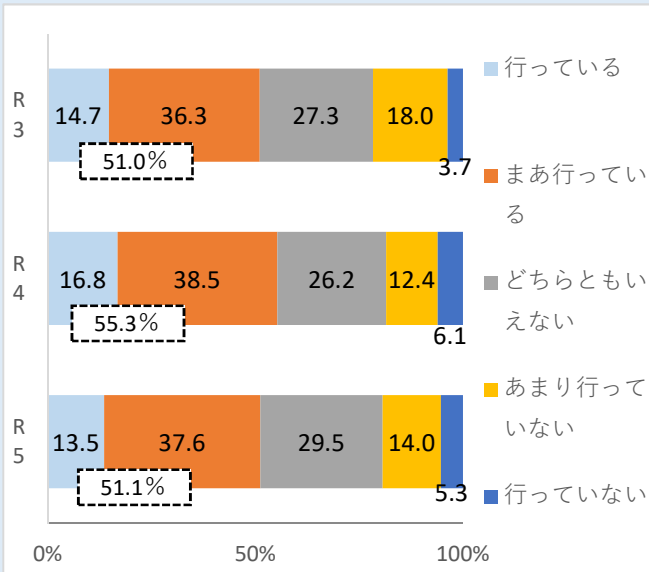
(R5内訳：小中)



(R5内訳：小中)

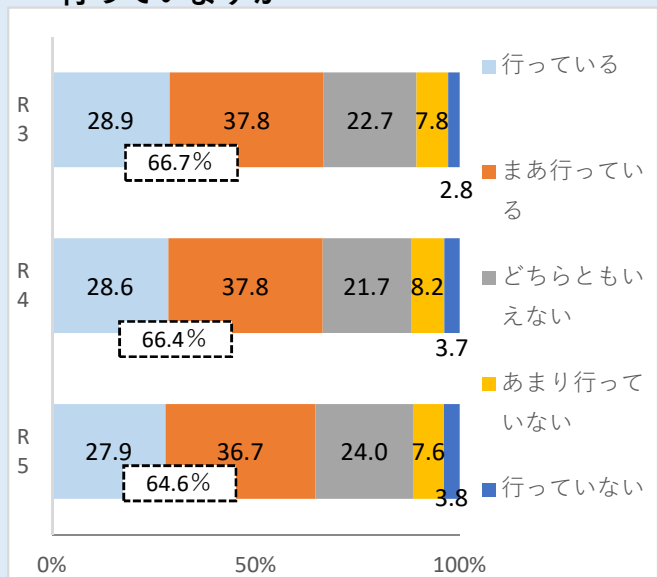


問B-18 あなたは職場において自分なりの働き方改革の取組を実践していますか



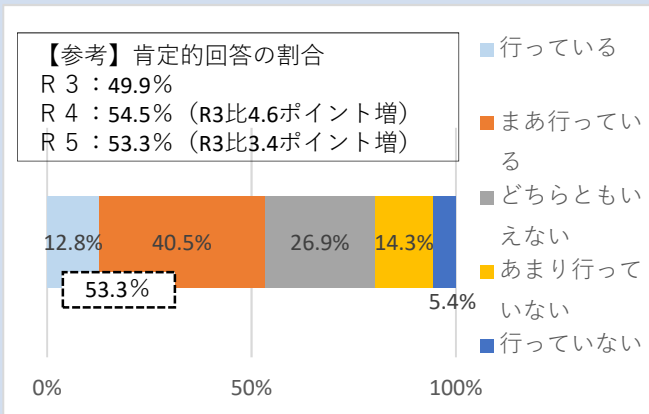
- 教職員自身が自分なりの働き方改革を実践している割合は約51%とR3年とほぼ同程度。
- 校種別にみると、県立学校では、実践している職員の割合はR3比で増加しているが、小中学校では減少している。

問B-19 職場において、管理職が率先して働き方改革の取組の呼掛けや実践を行っていますか

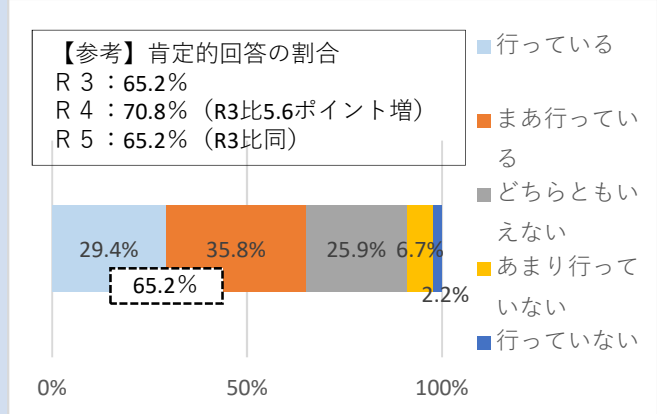


- 管理職の声掛けや実践が行われていると感じている割合は、約65%と若干減少している。校種別の内訳では、県立学校ではR3比で同程度であるが、小中学校では減少(3.9ポイント減)している。

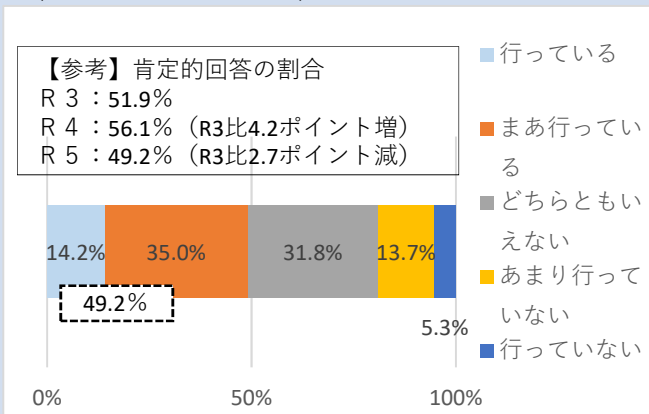
(R5内訳：県立)



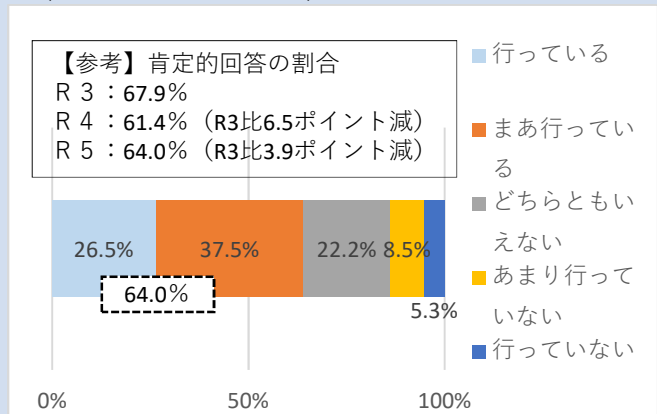
(R5内訳：県立)



(R5内訳：小中)



(R5内訳：小中)



【アンケート結果の傾向】

① プラン目標に関連するアンケート項目

【全体】

令和3年度アンケート結果と比較して、「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」（プラン）の目標となっているアンケート項目はいずれも減少しており、県全体の学校の働き方改革に向けた取組の効果が十分に発現していない。特に問B-12の減少が大きい。

【全体】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-1「現在の業務にやりがいを感じている」	87.6%	87.3%	85.2%	△2.4
問B-5「授業や授業準備に集中できている」	58.4%	58.2%	53.3%	△5.1
問B-12「健康でいきいきと業務を行っている」	57.2%	54.2%	50.7%	△6.5

【参考】

【校種別分析】

校種別でも、県立学校及び小中学校ともに3項目全て減少している。特に小中学校における問B-5及びB-12の減少、県立学校における問B-12の減少幅が大きい。

【県立】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-1「現在の業務にやりがいを感じている」	85.2%	85.0%	82.2%	△3.0
問B-5「授業や授業準備に集中できている」	55.8%	58.0%	53.1%	△2.7
問B-12「健康でいきいきと業務を行っている」	51.9%	55.6%	46.4%	△5.5

【小中】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-1「現在の業務にやりがいを感じている」	89.4%	89.9%	88.1%	△1.3
問B-5「授業や授業準備に集中できている」	60.5%	58.4%	53.5%	△7.0
問B-12「健康でいきいきと業務を行っている」	61.5%	52.8%	54.7%	△6.8

【アンケート結果の傾向】

② 時間外勤務（時間外在校等時間）の状況

【全体】

問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」の項目における「そう思う」「まあそう思う」の回答割合は、R3年度と同等（63.2%）となっていることに対して、関連項目としての問B-8「家庭のための時間の確保できているか」と問B-9「自分の時間を確保できているか」については、いずれも肯定的割合が減少している状況であり、明確な相関関係は認められない。

また、問B-7の「時間外勤務の要因」については、全般的に、授業や学級経営等以外の業務が高い割合を占めている状況であるが、各校種別におけるもっとも高い割合となっている項目は、小学校は「分掌業務」、中学校は「部活動」、高等学校「部活動」、特別支援学校「分掌業務」となっている。

【全体】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」	63.2%	61.6%	63.2%	0.0
問B-8「家庭のための時間の確保できているか」	48.7%	46.6%	45.2%	△3.5
問B-9「自分の時間を確保できているか」	44.9%	45.3%	43.4%	△1.5

【参考】

【校種別分析】

校種別に分析すると県立学校では、時間外勤務時間が多いと実感する職員の割合がR3比で増加（2.3ポイント増）しているが、B-8「家族の時間」の確保は3.2ポイント減少、B-9「自分の時間」の確保は0.7ポイント微増している。

小中学校では、時間外勤務時間が多いと実感する職員割合は微減しているものの、B-8「家族の時間」及びB-9「自分の時間」を確保できている職員割合は減少しており、全体評価と同様に明確な相関関係が認められない。

【県立】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」	52.5%	55.2%	54.8%	2.3
問B-8「家庭のための時間の確保できているか」	52.8%	50.7%	49.6%	△3.2
問B-9「自分の時間を確保できているか」	44.2%	49.7%	44.9%	0.7

【小中】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-6「時間外勤務時間が多いと感じるか」	71.8%	68.7%	70.9%	△0.9
問B-8「家庭のための時間の確保できているか」	45.4%	41.9%	41.2%	△4.2
問B-9「自分の時間を確保できているか」	45.4%	40.2%	42.2%	△3.2

【アンケート結果の傾向】

③ 働き方改革プランに基づく取組と取組効果等

【全体】

問B-15で県教委の「働き方改革プラン」の認知を確認したところ、約84%の教職員が認知している状況であるが、一方プラン策定以降における問B-17「負担軽減の実感度」に係る肯定的回答者は4人に1人（R5：25.2%）程度となっている。

また、問B-19「職場での管理職の働き方改革の声掛け等」は3分2程度実施（64.6%）されているが、問B-16「職場における働き方改革の取組」の実感及び前述の問B-17「負担軽減の実感度」はそれぞれR3比で減少しており、まだ一層の取組強化が必要である。

【全体】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-15「県の「働き方改革プラン」を知っているか」	81.5%	85.6%	84.1%	2.6
問B-16「職場において働き方改革の取組が行われているか」	43.1%	41.4%	40.9%	△2.2
問B-17「R3以降職場の負担軽減が進んでいるか」	28.6%	23.4%	25.2%	△3.4
問B-19「管理職が率先して取組の呼掛けや実践を行っているか」	66.7%	66.4%	64.6%	△2.1

【参考】

【校種別分析】

校種別に分析すると、県立学校では、県教委としての働き方改革プランの認知度は改善している一方、取組効果の実感が伴っていない。（問B-17：R3比で△3.4ポイント）

小中学校では全ての項目について改善を要する状況となっている。

【県立】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-15「県の「働き方改革プラン」を知っているか」	82.6%	87.9%	88.1%	5.5
問B-16「職場において働き方改革の取組が行われているか」	39.2%	40.2%	35.6%	△3.6
問B-17「R3以降職場の負担軽減が進んでいるか」	24.5%	21.9%	20.0%	△4.5
問B-19「管理職が率先して取組の呼掛けや実践を行っているか」	65.2%	70.8%	65.2%	0.0
【小中】	R3	R4	R5	R3→5比
問B-15「県の「働き方改革プラン」を知っているか」	80.6%	83.0%	80.4%	△0.2
問B-16「職場において働き方改革の取組が行われているか」	46.2%	42.8%	45.8%	△0.4
問B-17「R3以降職場の負担軽減が進んでいるか」	31.8%	25.2%	30.0%	△1.8
問B-19「管理職が率先して取組の呼掛けや実践を行っているか」	67.9%	61.4%	64.0%	△3.9